

コロナ禍における観光消費の減少がもたらす地域経済への影響

南山大学 石川良文

Create-C Tithipongtrakul Nontachai*

新型コロナウイルス感染症の拡大によって、世界経済は未曾有の打撃を受けている。日本においては、2020年3月から感染者が急増し、4月には緊急事態宣言が発令された。これにより日本の消費は減少し、特に観光消費は大きく落ち込むこととなった。感染症の拡大は主に都市部において見られたが、日本全体に経済的な影響が生じたと考えられる。そこで本研究では、著者らが開発した47都道府県産業連関表を用いて、観光消費などの消費需要の減少がもたらした影響を分析した。本研究の分析によって、新型コロナウイルス感染症の拡大は主に東京などの都市部で大きな影響が生じたことが示された。

Impact of reduced tourism consumption due to COVID-19 on local economies

Yoshifumi Ishikawa, Nanzan University

Tithipongtrakul Nontachai*, C-Create

The spread of the COVID-19 pandemic has had an unprecedented impact on the global economy. In Japan, the number of infected people increased rapidly from March 2020, and a state of emergency was declared in April. As a result, Japan's consumption has decreased, especially tourism consumption has fallen sharply. Although the pandemic has spread mainly in urban areas, it has impacted the economy of Japan as a whole. The purpose of this study is to analyze the impact of the decrease in consumption demand, such as tourism consumption, using the 47 Inter-Regional Input-Output Table at the prefectural level developed by the author in a previous study. As a result, we showed that the covid-19 have great economic impacts on urban areas such Tokyo.

コロナ禍における観光消費の減少がもたらす地域経済への影響

南山大学 石川 良文

Create-C Tithipongtrakul Nontachai*

1. はじめに

新型コロナウイルス感染症は、その感染拡大と共に深刻な世界的不況を引き起こした。日本においては、2020年3月から感染者が急増し4月に緊急事態宣言が発令されると、経済に与える影響も深刻さを増し、内閣府による2020年4～6月期のGDP推計値は、実質で前期比7.9%減、年率換算で28.1%減となった。IMF（2020年10月）によれば、2020年の世界のGDPは-4.4%、日本は-5.3%になると予測され、世界経済、日本経済共に戦後最悪の景気後退に直面している。日本では、消費、設備投資、輸出の全てで大きな落ち込みを見せているが、外出自粛の影響が大きかった個人消費は4-6月期-7.9%であり、特に国内旅行消費は同期比で83.3%の減少となった。

我が国では、これまで観光立国の名の下、国内外から旅行者を増やすと共に観光によってもたらされる経済効果を期待し様々な政策が実施されてきた。2008年には観光行政を担う観光庁が設置され、2016年には観光ビジョンを策定した。このビジョンでは2020年までに訪日旅行者を4,000万人、2030年には6,000万人の目標が掲げられ、2019年には過去最多の3,188万人の外国人が日本を旅行した。観光消費額は4.8兆円にも上り、経済産業省は経済波及効果として7兆8千億円の生産誘発効果が生じたと推計している。訪日外国人以上に観光消費をもたらしてきたのが日本人の国内旅行消費である。旅行・観光消費動向調査によれば、その額は2019年に21兆9千億円であり、訪日外国人による観光消費額の4.6倍となっている。

近年日本の観光消費は拡大傾向にあったが、新型コロナウイルス感染症の拡大により大きく落ち込むこととなった。産業連関による経済波及の観点から見れば、その影響は様々な産業におよび、日本経済全体にも大きな影響をもたらしたと考えられる。しかし、その影響は地域経済の観点からは一様ではなく、例えば埼玉県の4-6月期の観光消費額は71%減だったのに対し、東京都は93%減であった。首都圏ではこの期に感染者数が多くなったことが観光消費にも大きく影響したと考えられるが、一方で感染者が全く出ていなかった岩手県でもこの期の観光消費額は81%の減少であった。

本研究では、以上の状況を鑑み、新型コロナウイルス感染症の拡大による地域経済への影響として、国内観光消費を取り上げる。観光消費の影響は地域別に異なるため、都道府県別の影響を分析し、各都道府県に与えた影響の度合いを考察する。

2. 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う旅行・観光消費の変化

(1) 日本人国内旅行者数と旅行消費の状況

日本人の国内旅行者数は、2019年に年間5億8710万人であり、消費増税や災害多発などによる年ごとの変動はあるものの、ここ10年間概ね延べ6億人前後で推移している。一方で1人1回あたりの旅行単価は増加傾向にあり、2011年の3万2,222円から2019年の3万7,355円と推移した。旅行消費額全体でも概ね増加傾向にあり、2011年の19兆7,369億円から2019年には21兆9,312億円と2兆1943億円の増加である。このように堅調な旅行需要で推移していたが、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い状況は一変してしまった。旅行者数は、2020年1-3月期で9,273万人と前年同期比で-23.2%、4-6月期で3,714万人の-77.4%となり、特に緊急事態宣言が発出中であった4月、5月はそれぞれ-81.1%、-84.2%であり、特に宿泊旅行は4月-83.6%、5月-88.3%と激減した。旅行単価も前年同期比と比較して大幅に減少し、旅行消費額としては4月-87.8%、5月-89.2%であり、4-6月期で-83.3%の減少となった。

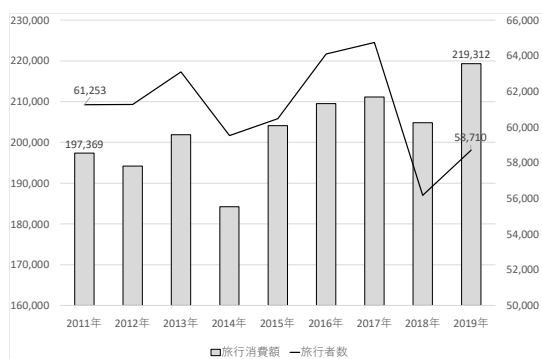


図1 近年の旅行者数(万人)と旅行消費額(億円)の推移

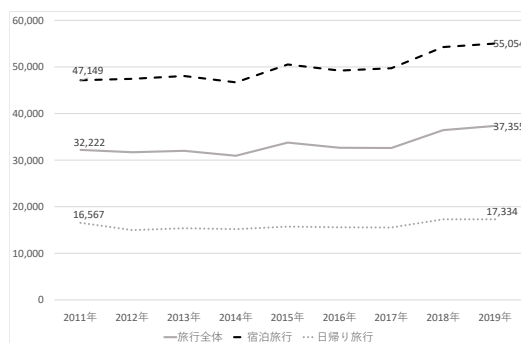


図2 近年の1人1回あたり旅行単価(円)

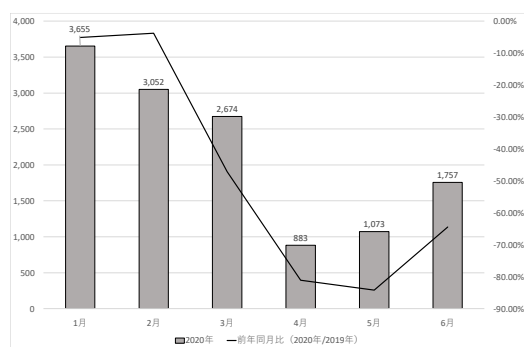


図3 2020年月別旅行者数(万人)の推移
出所) 旅行・観光消費動向調査

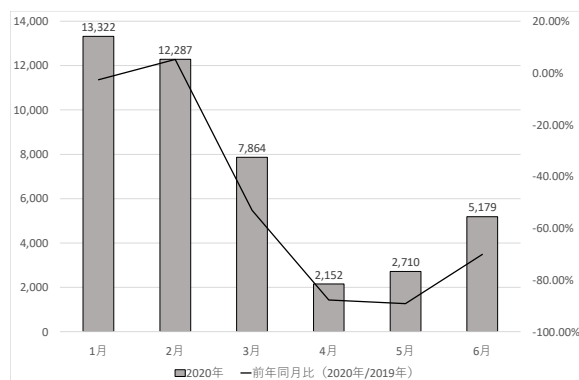


図4 2020年月別旅行消費額の推移(億円)

(2) 都道府県別の旅行者数と旅行消費の状況

4月-6月期の旅行者数は、東京・大阪の89%減少から奈良県61%減少までその減少幅は各都道府県で大きく異なり、東北の福島、首都圏の東京及び千葉、中部の愛知・三重、関西の京都・大阪、中国地域の岡山・広島、沖縄などで大きく減少しており、これらの都府県では特に日帰り旅行の減少が旅行者数の減少につながっている。旅行消費額では、東北の福島、首都圏の東京・千葉、中部の愛知、関西の京都・大阪・兵庫、中国の岡山・広島、四国の徳島・香川、九州の佐賀・鹿児島及び沖縄で大きく減少しており、東北と九州の特殊性を除き都市部で旅行消費額の大幅な減少が見られた。

| | 延べ旅行者数 | | | 旅行消費額 | | |
|------|--------|-------|------|-------|-------|------|
| | 宿泊旅行 | 日帰り旅行 | 旅行合計 | 宿泊旅行 | 日帰り旅行 | 旅行合計 |
| 北海道 | -75% | -52% | -66% | -87% | -47% | -82% |
| 青森県 | -87% | -36% | -71% | -93% | -64% | -89% |
| 岩手県 | -81% | -58% | -72% | -84% | -67% | -81% |
| 宮城県 | -82% | -77% | -80% | -85% | -81% | -84% |
| 秋田県 | -66% | -73% | -69% | -79% | -74% | -78% |
| 山形県 | -80% | -60% | -70% | -80% | -56% | -74% |
| 福島県 | -85% | -89% | -87% | -90% | -87% | -90% |
| 茨城県 | -80% | -67% | -72% | -95% | -49% | -78% |
| 栃木県 | -82% | -68% | -74% | -90% | -75% | -86% |
| 群馬県 | -68% | -54% | -62% | -74% | -70% | -72% |
| 埼玉県 | -72% | -85% | -81% | -69% | -74% | -71% |
| 千葉県 | -89% | -85% | -87% | -96% | -82% | -92% |
| 東京都 | -92% | -86% | -89% | -95% | -87% | -93% |
| 神奈川県 | -69% | -84% | -78% | -71% | -81% | -74% |
| 新潟県 | -75% | -49% | -66% | -82% | -60% | -78% |
| 富山県 | -95% | -44% | -77% | -97% | 89% | -75% |
| 石川県 | -91% | -42% | -81% | -85% | -17% | -80% |
| 福井県 | -71% | -54% | -63% | 32% | -17% | 21% |
| 山梨県 | -76% | -63% | -70% | -79% | -79% | -79% |
| 長野県 | -75% | -42% | -64% | -79% | -56% | -75% |
| 岐阜県 | -85% | -27% | -64% | -77% | -44% | -71% |
| 静岡県 | -72% | -67% | -70% | -78% | -68% | -75% |
| 愛知県 | -79% | -83% | -82% | -92% | -88% | -90% |
| 三重県 | -84% | -84% | -84% | -83% | -77% | -80% |
| 滋賀県 | -77% | -56% | -63% | -72% | -60% | -68% |
| 京都府 | -86% | -78% | -81% | -94% | -84% | -90% |
| 大阪府 | -85% | -94% | -89% | -88% | -94% | -90% |
| 兵庫県 | -67% | -81% | -76% | -92% | -89% | -91% |
| 奈良県 | -80% | -47% | -61% | -89% | -13% | -66% |
| 和歌山県 | -86% | -68% | -78% | -89% | -63% | -82% |
| 鳥取県 | -68% | -84% | -78% | -65% | -72% | -67% |
| 島根県 | -75% | -73% | -74% | -85% | -83% | -84% |
| 岡山県 | -93% | -83% | -86% | -97% | -92% | -95% |
| 広島県 | -90% | -82% | -86% | -93% | -89% | -92% |
| 山口県 | -76% | -50% | -62% | -85% | -65% | -80% |
| 徳島県 | -97% | -51% | -75% | -99% | -87% | -96% |
| 香川県 | -83% | -73% | -80% | -92% | -84% | -91% |
| 愛媛県 | -71% | -77% | -73% | -79% | -46% | -73% |
| 高知県 | -73% | -69% | -72% | -82% | -91% | -85% |
| 福岡県 | -76% | -82% | -79% | -85% | -90% | -87% |
| 佐賀県 | -95% | -49% | -75% | -98% | -69% | -94% |
| 長崎県 | -68% | -55% | -62% | -84% | -68% | -80% |
| 熊本県 | -80% | -85% | -82% | -78% | -89% | -80% |
| 大分県 | -88% | -71% | -81% | -94% | -47% | -87% |
| 宮崎県 | -56% | -88% | -75% | -72% | -87% | -76% |
| 鹿児島県 | -84% | -5% | -67% | -94% | -41% | -90% |
| 沖縄県 | -83% | -97% | -85% | -90% | -99% | -91% |

出所) 旅行・観光消費動向調査

図5 都道府県別旅行者数と旅行消費の前年同期比

3. 経済影響の分析方法

コロナ禍における観光消費の減少による都道府県別の経済影響を分析するために、本研究では既に著者らにより作成されている47都道府県間産業連関表を用いた地域間産業連関モデルを適用する。47都道府県間産業連関表は競争輸入・非競争移入型の地域間産業連関表の形式であるため、経済波及効果を推計するモデルも競争輸入・非競争移入型地域間産業連関モデルを適用した。

このモデルの適用においては、都道府県別産業別の旅行消費額ベクトルの推計が必要となるが、その推計は次の手順により行った。まず、都道府県別の旅行消費額は、観光庁による旅行・観光消費動向調査から4半期別旅行消費額データを入手した。このデータは宿泊の有無別（宿泊旅行、日帰り旅行）でそれぞれ旅行目的別（観光・レクリエーション、帰省・知人訪問等、出張・業務）のデータであるが、旅行消費額の総額のみデータである。そのため、これを全国の品目別比率と都道府県別の品目別比率を用いて50品目別の旅行消費額に分割した。この品目は産業連関表の部門と異なるため、産業連関表との部門対応により、都道府県間産業連関表の部門分類での旅行消費額を推計した。更に、この時点での部門別旅行消費額は購入者価格であるため、商業マージン、運輸マージン率により購入者価格から生産者価格に変換した。

次に推計された旅行消費額ベクトルは、旅行目的地別の旅行前、旅行中、旅行後の消費額全体であるため、推計された旅行消費額をそのまま各都道府県の旅行消費需要額として与えるのは不適切である。そのため、旅行中の宿泊、飲食サービス、娯楽サービスは旅行目的地の最終需要としてそのまま与え（自給率1）、他の産業別需要額は都道府県間産業連関表の家計消費支出の交易係数を用いることとした。

経済波及効果を産業連関モデルによって推計する場合、産業連関のみに着目したレオンチェフ逆行列による消費外生モデルと、所得・消費の連関をも含むレオンチェフ・ケインズ型の消費内生モデルによる推計がある。本研究では両モデルを適用し、後者のモデルで用いる消費性向は家計調査データから地域別の消費性向を考慮した。経済波及効果としては、消費外生型、消費内生型共に、生産誘発額、付加価値誘発額（近似的にGRP）、所得誘発額を推計した。また、旅行消費額の減少は、日本において2020年1月から新型コロナウイルスの感染者があったことから、2020年1-3月期及び4-6月期を取り上げ、減少幅は前年同期比（差）とした。

4. 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う国内観光旅行消費減少の都道府県別経済影響

本研究では、2020年1-3月期、同年4-6月期の影響を分析したが、本稿では2020年4-6月期の観光消費が減少したことによる影響を示す。図6に見られるように、2020年4-6月期の旅行消費の減少は、全国で4兆7,142億円であった。この旅行消費の減少に伴う生産

額への影響は消費を外生扱いとした場合、全国で 8 兆 741 億円、消費を内生化した場合は 10 兆 630 億円であった。

| | 生産誘発額 | 生産誘発額 | 生産誘発額 | GRP誘発額 | GRP誘発額 | 所得誘発額 | 所得誘発額 |
|---------|------------|------------|-------------|------------|------------|------------|------------|
| | 直接効果 | 消費外生 | 消費内生 | 消費内生_発生 | 消費内生_帰着 | 消費内生_発生 | 消費内生_帰着 |
| 全国 | -4,714,191 | -8,074,074 | -10,629,706 | -5,712,117 | -5,712,117 | -2,747,020 | -2,747,020 |
| 1 北海道 | -256,454 | -422,039 | -530,019 | -282,097 | -282,185 | -133,615 | -133,671 |
| 2 青森県 | -59,408 | -91,347 | -113,066 | -61,420 | -61,374 | -27,409 | -27,383 |
| 3 岩手県 | -53,502 | -82,579 | -104,916 | -59,544 | -59,773 | -27,895 | -28,041 |
| 4 宮城県 | -96,278 | -152,269 | -189,678 | -97,036 | -97,023 | -49,891 | -49,871 |
| 5 秋田県 | -29,452 | -50,325 | -63,420 | -32,474 | -32,580 | -14,498 | -14,562 |
| 6 山形県 | -45,289 | -70,206 | -89,618 | -47,258 | -47,335 | -21,366 | -21,417 |
| 7 福島県 | -92,205 | -145,394 | -187,260 | -100,325 | -100,528 | -51,265 | -51,365 |
| 8 茨城県 | -62,009 | -132,725 | -184,543 | -87,787 | -94,545 | -39,321 | -43,541 |
| 9 栃木県 | -101,858 | -163,340 | -215,918 | -117,023 | -115,659 | -64,086 | -63,220 |
| 10 群馬県 | -68,097 | -116,537 | -155,056 | -78,084 | -77,672 | -39,551 | -39,311 |
| 11 埼玉県 | -62,204 | -141,772 | -226,043 | -121,432 | -186,605 | -57,435 | -97,826 |
| 12 千葉県 | -267,308 | -415,470 | -536,326 | -282,956 | -326,212 | -135,171 | -162,481 |
| 13 東京都 | -534,647 | -1,083,142 | -1,452,369 | -824,764 | -649,318 | -405,043 | -294,801 |
| 14 神奈川県 | -160,114 | -314,174 | -449,335 | -226,085 | -287,005 | -113,538 | -152,231 |
| 15 新潟県 | -65,299 | -122,796 | -161,443 | -84,656 | -84,666 | -39,394 | -39,411 |
| 16 富山県 | -24,027 | -46,199 | -62,389 | -33,028 | -33,254 | -16,316 | -16,447 |
| 17 石川県 | -59,779 | -88,462 | -108,768 | -61,757 | -61,397 | -28,814 | -28,595 |
| 18 福井県 | 111 | -13,135 | -21,678 | -10,335 | -10,591 | -3,990 | -4,159 |
| 19 山梨県 | -61,706 | -88,905 | -111,353 | -61,361 | -61,525 | -30,902 | -30,992 |
| 20 長野県 | -102,906 | -163,237 | -210,900 | -114,119 | -114,087 | -58,142 | -58,115 |
| 21 岐阜県 | -46,850 | -85,862 | -118,247 | -64,343 | -68,383 | -31,876 | -34,335 |
| 22 静岡県 | -176,784 | -292,956 | -387,718 | -206,464 | -205,531 | -97,791 | -97,343 |
| 23 愛知県 | -187,032 | -357,212 | -491,687 | -244,433 | -240,511 | -125,498 | -123,008 |
| 24 三重県 | -78,248 | -125,099 | -164,108 | -84,882 | -85,897 | -41,324 | -41,951 |
| 25 滋賀県 | -38,135 | -68,045 | -95,960 | -50,493 | -55,521 | -24,786 | -27,539 |
| 26 京都府 | -165,660 | -240,958 | -305,295 | -177,910 | -173,688 | -82,194 | -80,001 |
| 27 大阪府 | -369,976 | -621,976 | -804,412 | -458,562 | -423,392 | -214,340 | -194,508 |
| 28 兵庫県 | -199,131 | -314,153 | -410,396 | -218,537 | -239,211 | -108,484 | -120,070 |
| 29 奈良県 | -35,953 | -53,923 | -74,672 | -40,748 | -52,934 | -21,067 | -27,919 |
| 30 和歌山県 | -52,915 | -85,266 | -106,644 | -52,335 | -53,544 | -23,425 | -24,137 |
| 31 鳥取県 | -14,309 | -23,955 | -31,568 | -15,955 | -15,997 | -8,150 | -8,172 |
| 32 島根県 | -18,036 | -28,309 | -36,905 | -20,788 | -20,823 | -9,707 | -9,731 |
| 33 岡山県 | -56,970 | -111,567 | -150,383 | -70,158 | -70,579 | -33,225 | -33,495 |
| 34 広島県 | -104,211 | -171,058 | -223,805 | -126,763 | -126,109 | -56,043 | -55,591 |
| 35 山口県 | -48,488 | -96,553 | -126,043 | -56,040 | -56,539 | -23,206 | -23,585 |
| 36 徳島県 | -20,692 | -37,092 | -48,095 | -24,312 | -24,556 | -11,682 | -11,826 |
| 37 香川県 | -47,345 | -77,887 | -98,771 | -54,566 | -54,155 | -25,965 | -25,714 |
| 38 愛媛県 | -30,661 | -63,949 | -83,803 | -41,163 | -41,244 | -16,890 | -16,953 |
| 39 高知県 | -22,784 | -34,569 | -43,388 | -24,226 | -24,286 | -12,444 | -12,474 |
| 40 福岡県 | -216,414 | -367,434 | -496,348 | -274,758 | -275,230 | -129,263 | -129,550 |
| 41 佐賀県 | -63,354 | -99,380 | -127,479 | -70,000 | -68,530 | -33,806 | -32,854 |
| 42 長崎県 | -61,402 | -98,228 | -129,324 | -72,009 | -72,418 | -35,864 | -36,107 |
| 43 熊本県 | -87,407 | -138,793 | -179,124 | -96,283 | -96,811 | -49,871 | -50,163 |
| 44 大分県 | -57,737 | -96,398 | -124,530 | -60,513 | -60,547 | -26,660 | -26,722 |
| 45 宮崎県 | -25,366 | -51,358 | -69,002 | -35,772 | -36,098 | -14,854 | -15,044 |
| 46 鹿児島県 | -103,068 | -163,008 | -204,860 | -115,132 | -114,918 | -48,582 | -48,474 |
| 47 沖縄県 | -182,832 | -265,036 | -323,043 | -171,430 | -171,328 | -82,381 | -82,316 |

図 6 2020 年 4-6 月期の旅行消費の減少に伴う各県別の経済影響

付加価値額及び雇用者所得額の影響は消費を内生化した場合のみ示すが、全国の付加価値額は5兆7,121億円、雇用者所得額は2兆7,470億円の減少となる。

都道府県別では、旅行消費額は東京都が最も減少し5,346億円の減少であり、次いで大阪府の3,700億円の減少であった。この他、東京都に隣接する千葉県、九州の福岡県など各地域ブロックの主要県、北海道、沖縄県などで大幅な減少があった。生産額では消費を外生、内生で扱った場合のどちらも東京都の影響が突出して大きい結果となった。これは旅行需要の起点である東京において実際の消費が減少していること、産業間の連関構造においても東京は通常他道府県との結びつきが大きいことが影響していると考えられる。

また、本研究では所得の発生と帰着に着目して、それぞれの雇用者所得額を示す。これは雇用者所得は産業連関分析では一般に発生ベースで捉えられるが、通勤のために実際に所得が帰着する場所は発生場所と異なるためである。雇用者所得の発生ベースでは東京の影響が大きいことが見て取れるが、実際の帰着ベースでは埼玉、千葉、神奈川の影響が大きくなる。これは首都圏の都県を跨ぐ通勤が影響しているためと思われる。

5. まとめ

本研究では、新型コロナウイルス感染症の経済的影響として、旅行消費の減少の影響を分析した。今回の分析では2020年の1-3月期と4-6月期の影響を分析したが、額そのものは東京の影響が大きいことが示された。また、実際の所得面での帰着では東京周辺の首都圏での影響が大きいことが分析された。分析の現時点（2020年10月現在）では、新型コロナウイルス感染症の拡大が続いているため、今後の観光関連統計を注視しつつ更なる分析を行い、新型コロナウイルス感染症の拡大による観光消費の減少が日本の各地域に与える影響の全体を分析することが今後の課題である。

【参考文献】

- 青木卓志、地域のインバウンド政策分野における経済効果分析―北陸3県の事例分析―、地域学研究, Vol143, No. 4, pp. 527-541, 2013.
- 塩谷英生、観光消費の経済効果の推計―観光統計の現状とTSAの登場―、オペレーションズ・リサーチ, pp. 17-22, 2005.
- 洪澤博幸・櫻井一宏・坂井原直樹・山口誠、観光消費の空間経済効果の評価方法に関する研究―静岡県の市町間産業連関表を用いて―、地域学研究, Vol. 47, pp. 159-173, 2017.
- Tourism and Transport Forum, Estimated Impact of Coronavirus on the Australian Visitor Economy, 2020
- Clemens Breisinger, Abla Abdel Latif, Mariam Raouf, and Manfred Wiebelt, Economic Impact of COVID-19 on Tourism and Remittances: Insights from Egypt, Labor restrictions and remittances, 2020.